

Tsuyama College		Year	2022		Course Title	English I
Course Information						
Course Code	0008		Course Category	General / Compulsory		
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2		
Department	Department of Integrated Science and Technology Communication and Informations System Program		Student Grade	1st		
Term	Year-round		Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：石川慎一郎ほか著 Big Dipper: English Communication I（数研出版）・その他：ベーシックノート（教科書専用）、Listening Laboratory Basic（三訂版）（数研出版）、音声CD、A4サイズのパファイル（2つ穴）、電子辞書					
Instructor	HORI Hidenobu					
Course Objectives						
学習目的：4技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。						
到達目標： 1・英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。 2・高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。 3・英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。 4・本文の要旨を英語または日本語でまとめることができる。 5◎・ コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが十分できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができない。		
評価項目2	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することが十分できる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することが最低限できる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができない。		
評価項目3	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。		
評価項目4	本文の要旨を英語または日本語でまとめることが十分できる。	本文の要旨を英語または日本語でまとめることができる。	本文の要旨を英語または日本語でまとめることが最低限できる。	本文の要旨を英語または日本語でまとめることができない。		
評価項目5	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることが十分できる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができない。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：一般 学習の分野：英語					
	基礎となる学問分野：英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学					
	学習教育目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」，「⑤グローバルな視点と社会性の養成」，「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要：検定教科書の様々な分野の英文を用いて、内容理解をおこなったうえで、音読や簡単な作文といったアウトプット（話す・書く）活動を実施する。また、その基盤となるインプット（語彙・文法力）活動を実施する。					
Style	読解・音読のために、英文の区切りを見つける練習をおこなう。リスニング、読解による内容理解の後、音読練習や要旨作成などの活動をおこなう。授業冒頭にリスニングの訓練をおこなう。また、語彙力を身につける訓練をおこなう。発音をアプリでチェックするためBYODのPCが必要となる。 教科書本文を活用し学生自身で疑問詞疑問文を作り、パートナーと問題を出し合うような英会話の初期段階となる練習も行う。 成績評価方法：前期中間試験から後期中間試験までは、定期試験の結果を平均して評価する（60％）。定期試験の結果に加え、平素の小テスト・課題・授業ノートなど（40％）を総合して成績評価をおこなう。年度末の成績評価は、後期末試験まで加え、上記の方法で算出された結果を90％に換算し、GTECの結果（リーディング・リスニング）を10％加えて評価する。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。 場合によっては再試験を実施する。積極的に授業に参加すること。					

Notice	履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。
	履修上のアドバイス：「事前におこなう準備学習」として予習をおこなうこと。また復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。GTECを必ず受験すること。
	基礎科目：中学校での学習事項・英語表現I（1年）
	関連科目：英語II（2）・英語表現II（2）・英語III（3）・英語IV（4）・国際英語論I（4）・コミュニケーション学I（4）・国際英語論II（4）・コミュニケーション学II（4）・英語V（5）
	受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。講義ならびに音読や英作文の活動は、運用能力向上のための基礎となる。そのため、必ず、教科書・予習ノート・英和辞書・和英辞典を持参し、予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。後期中間試験前に実施されるGTECを必ず受験すること。英検などの資格・検定試験を積極的に受験することが望ましい。
	遅刻について：授業開始5分すぎでの入室は欠課扱いとする。

Characteristics of Class / Division in Learning

☐ Active Learning	☒ Aided by ICT	☒ Applicable to Remote Class	☐ Instructor Professionally Experienced
--	--	--	--

必修

Course Plan

			Theme	Goals
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス（予習・復習など学習法の説明，受講上の注意）・多読資料の紹介	年間を通じての学習方法を理解し、学習計画の見通しを立てる。
		2nd	Lesson 1 Part 1	朝食の大切さ、理想的な朝食について書かれた英文が理解できる。 英語の時制を理解し、活用する。
		3rd	Lesson 1 Part 2	朝食の大切さ、理想的な朝食について書かれた英文が理解できる。 現在完了形・現在進行形を理解し、活用する。
		4th	Lesson 1 Part 3	朝食の大切さ、理想的な朝食について書かれた英文が理解できる。 命令文を理解し、活用する。
		5th	Lesson 2 Part 1	町おこしのキャラクターの役割について書かれた英文が理解できる。SVC・SVOを理解し、活用する。
		6th	Lesson 2 Part 2	町おこしのキャラクターの役割について書かれた英文が理解できる。不定詞（名詞的・副詞用法）を理解し、活用する。
		7th	Lesson 2 Part 3	町おこしのキャラクターの役割について書かれた英文が理解できる。 動名詞を理解し、活用する。
		8th	前期中間試験	現時点の英語力を確認する。
	2nd Quarter	9th	前期中間試験返却と解説 Lesson 3 Part 1	前期中間試験までの振り返りと今後の学習目標を立てる。 リーダーシップについて書かれた英文が理解できる。 受動態を理解し、活用する。
		10th	Lesson 3 Part 2	リーダーシップについて書かれた英文が理解できる。 関係代名詞を理解し、活用する。
		11th	Lesson 3 Part 3	リーダーシップについて書かれた英文が理解できる。 SVOO・SVOCを理解し、活用する。
		12th	Lesson 5 Part 1	芸術の世界にまで進出するAIについて書かれた英文が理解できる。 名詞を修飾する分詞を理解し、活用する。
		13th	Lesson 5 Part 2	芸術の世界にまで進出するAIについて書かれた英文が理解できる。 It that構文を理解し、活用する。
		14th	Lesson 5 Part 3	芸術の世界にまで進出するAIについて書かれた英文が理解できる。 It to構文を理解し、活用する。
		15th	前期末試験	現時点の英語力を確認する。
		16th	前期末試験の返却と解説・夏休みの課題説明	前期末試験までの振り返りと今後の学習目標を立てる。
2nd Semester	3rd Quarter	1st	夏休み課題テスト Lesson 6 Part 1	課題実施の成果をテストにより確認する。 世界の人々の「幸福度」の違いについて書かれた英文が理解できる。 完了・結果を理解し、活用する。
		2nd	Lesson 6 Part 2	世界の人々の「幸福度」の違いについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞whereを理解し、活用する。
		3rd	Lesson 6 Part 3	世界の人々の「幸福度」の違いについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞whenを理解し、活用する。
		4th	Lesson 7 Part 1	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 知覚動詞＋原形不定詞を理解し、活用する。
		5th	Lesson 7 Part 2	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 使役動詞を理解し、活用する。

		6th	Lesson 7 Part 3	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 SVO + to不定詞を理解し、活用する。
		7th	Lesson 7 Part 4	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 知覚動詞 + 現在分詞を理解し、活用する。
		8th	後期中間試験	現時点の英語力を確認する。
	4th Quarter	9th	後期中間試験返却と解説 Lesson 8 Part 1	後期中間試験までの振り返りと今後の学習目標を立てる。 世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞howを理解し、活用する。
		10th	Lesson 8 Part 2 (冬休み課題, 詳細は別途指示する)	世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 関係代名詞whatを理解し、活用する。
		11th	冬休み課題テスト Lesson 8 Part 3	課題実施の成果をテストにより確認する。 世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞whyを理解し、活用する。
		12th	Lesson 8 Part 4	世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 強調構文を理解し、活用する。
		13th	Lesson 10 Part 1, 2	日本の社会における雇用の多様性について書かれた英文が理解できる。 仮定法過去・分詞構文を理解し、活用する。
		14th	Lesson 10 Part 3, 4	日本の社会における雇用の多様性について書かれた英文が理解できる。 過去の習慣・助動詞 + be + 過去分詞を理解し、活用する。
		15th	後期末試験	現時点の英語力を確認する。
		16th	後期末試験の返却と解説	1年間の振り返りと今後の学習目標を立てる。

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	自己評価	態度	課題	小テスト	Total
Subtotal	60	0	0	0	30	10	100
基礎的能力	50	0	0	0	30	10	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10